

# 島根県環境基本計画

〔改定版〕

豊かな環境を守り、はぐくみ 持続的に発展する島根をめざして



平成18年3月

島根県

# 豊かな環境を守り、はぐくみ 持続的に発展する島根をめざして



私たちの住む島根県は、四季折々の移ろいを見せる海や山、川や湖、安らぎと恵みを与えてくれる動植物など豊かな自然に恵まれています。このふるさとのかけがえのない環境を守り、次の世代に引き継いでいくことは、私たちの喜びであり、責務でもあります。

近年、河川・湖沼の水質汚濁、廃棄物の増大などの身近な環境問題や、地球の温暖化、オゾン層の破壊などの地球規模の環境問題も生じてきており、その解決が大きな課題となっています。このため、本県においては、環境保全に関する施策を総合的に推進する「島根県環境基本計画」を平成11年2月に策定し、この計画に基づいて環境施策を展開してまいりました。

しかしながら、計画策定後、国においては多くの環境関連法令や個別計画の整備が行われ、また、本県においても新たに「産業廃棄物減量税」や「水と緑の森づくり税」を導入し、地球温暖化対策や循環型社会の形成に向けた取り組みを強化するなど、計画策定時の状況は大きく変化しています。このため、こうした新しい状況に適切に対応するため、このたびこの基本計画を改定したところであります。

県といたしましては、今後も引き続き、本計画に基づいて環境保全に関する施策の一層の推進を図ってまいりますので、県民の皆様には、それぞれの立場において、「豊かな環境を守り、はぐくみ 持続的に発展する島根」の実現に向けた行動に自主的・積極的に取り組んでいただきますよう、お願い申し上げます。

終わりに、この計画の改定に当たり、熱心に御審議いただきました「島根県環境審議会」の委員の皆様をはじめ、貴重な御意見をお寄せいただいた県民の皆様にご心からお礼を申し上げます。

平成18年3月

島根県知事

澄田信義

# 目 次

第 1 章 計画改定の基本的事項	
第 1 節 計画改定の趣旨	2
1 はじめに	2
2 環境をめぐる動き	3
3 旧計画の進捗状況と課題	6
4 改定の基本的な視点	9
第 2 節 計画の位置づけ	10
1 計画の役割	10
2 計画の期間	10
3 計画の対象とする環境	10
第 3 節 計画の目標等	11
1 計画のテーマ	11
2 計画の基本目標	11
3 計画の構成	14
4 各主体の役割	15
5 環境の将来像	16
第 2 章 施策の推進	
1 環境への負荷の少ない循環型社会の構築	20
1-1 大気環境の保全	20
1-2 水環境の保全	24
1-3 土壌環境の保全	28
1-4 騒音・振動・悪臭の対策	29
1-5 化学物質の環境リスク対策	31
1-6 資源の循環利用及び廃棄物の減量	33
1-7 環境関連産業の振興	37
1-8 原子力発電所周辺環境安全対策の推進	41
2 人と自然との共生の確保	43
2-1 自然とのふれあいの推進	43
2-2 生物の多様性の確保	46
2-3 森林・農地・漁場の保全と活用	49
2-4 快適な生活空間の形成	52
3 地球環境保全の積極的推進	54
3-1 地球温暖化の防止	54
3-2 オゾン層の保護・酸性雨対策の推進	57
3-3 国際的取組の推進	58

4	環境保全に向けての参加の促進	59
4-1	環境保全意識の醸成	59
4-2	各主体の環境保全活動の促進	61
4-3	参加と協働による地域環境づくりの促進	64
5	共通的・基盤的な施策の推進	66
5-1	環境に配慮した施策手法の推進	66
5-2	調査研究・監視等の充実	67
5-3	環境情報提供・交流体制の整備	68
5-4	公害防止と環境防災体制の整備	69
5-5	経済的措置	70

### 第3章 重点プロジェクト

1	きよらかな水環境保全プロジェクト	73
2	安全・安心確保に向けた化学物質の管理推進プロジェクト	76
3	環境への負荷の少ない持続的に発展する 「しまね循環型社会」推進プロジェクト	78
4	循環型社会を構築する環境関連産業振興プロジェクト	80
5	自然と共生する島根ふれあい四季空間創造プロジェクト	81
6	恵み豊かな森林、農地の保全と活用プロジェクト	84
7	「地球を守る」しまね地球温暖化防止プロジェクト	86
8	みんなで取り組む島根の環境づくり推進プロジェクト	88

### 第4章 計画の推進

1	推進体制	91
2	進行管理	93
3	財政上の措置	94
4	計画の見直し	94

### 資料編

1	環境の現況	1
2	環境めぐる主な動き	28
3	重点プロジェクトの進捗状況	29
4	環境指標の推移	33
5	アンケート調査結果	35
6	計画策定の経緯	62
7	島根県環境基本条例	64
8	用語の解説	71